口ひげは短くし、あごひげは貯えておけ。

イブン・ウマル（彼らにアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った：「口ひげは短くし、あごひげは貯えておけ。」
［真正］［二大真正集収録の伝承。文言はムスリムのもの］

このハディースは、ムスリムが口ひげを短くし、それが過度の長さにならない限り、４０日以上それを放ったらかしにはしないことを命じている。ムスリムの真正集に収録されている、アナス（彼にアッラーのご満悦あれ）が語るハディースによれば、「私たちは、口ひげを切ること、爪を切ること、腋毛の除去、陰毛を剃ることにおいて、４０夜以上、それらを放ったらかしにしないよう、期限を定められた。」また、アブー・ダーウードの伝承によれば、「アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は、陰毛を剃ること、爪を切ること、口ひげを切ることを、４０日間に一度行うよう、期限を定めた。」また、アフマドとアン＝ナサーイーの伝承には、このようにある：「口ひげを短くしない者は、私たちの仲間ではない。」（アル＝アルバーニーが『As-Sahih Al-Jami'u As-Saghir』6533番で真正と判定）以上のことから、口ひげを短くすることは強調された教えである。それは皮膚の白さが透けて見える位にまで短くするのでも、または唇の上部まで覆い、食べ物に付着してしまうほどの長さにならない程度に除去するのでもよい。「あごひげを貯えておけ」の「あごひげ」とは、アラビア語学者らによれば「あご全体、及び両頬に生える毛」のことである。これを「貯える」こととは、量の多少を問わず、剃ったり切ったりせずに、豊かな形で残しておくことである。「貯える（イゥファーゥ）」のアラビア語における原意は、「豊かにする」「多くする」という意味であり、「残し、多い状態にする」ことであると理解される。あごひげを伸ばしておくことを命じるアッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）のハディースは、様々な表現のもと、多くのものが伝わっている。（当時の）ペルシャでは、あごひげを短く切ることが習慣となっており、イスラームはそれを禁じた。アル＝ブハーリーに収録されたイブン・ウマルの別のハディースには、「...そして多神教徒たちとは違うようにせよ」との言葉もある。多神教徒とは違くするという理由づけを伴うこの命令からは、あごひげを貯えることの義務性が窺える。彼らと相似することは原則禁じられており、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は「ある民と似る者は、彼らの仲間である」と言っている。

https://sunnah.global/hadeeth/ja/show/3279

النجاة الخيرية
ALNAJAT CHARITY
لجنة الدعوة الإلكترونية
EDC E-Da'wah Committee